



2025年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年1月31日

上場会社名 第一三共株式会社

上場取引所 東

コード番号 4568 URL <https://www.daiichisankyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奥澤 宏幸

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 朝倉 健太郎 TEL 03-6225-1125

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（機関投資家、証券アナリスト、報道関係者向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		税引前利益		四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	1,367,567	16.6	229,009	33.0	248,311	27.6	275,000	37.6	208,603	27.1
2024年3月期第3四半期	1,173,269	23.7	172,229	45.5	194,551	53.0	199,846	56.8	164,102	89.3

	親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額		基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	208,603	27.5	239,178	15.0	109.65	109.58
2024年3月期第3四半期	163,564	88.7	208,045	76.8	85.31	85.25

(注) 当社グループは、経常的な収益性を示す指標として営業利益から一過性の損益を除外したコア営業利益を開示しております。コア営業利益の定義につきましては、2ページ「1. 経営成績等の概況（1）当四半期の経営成績の概況」をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率	1株当たり親会社所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	3,443,612	1,624,374	1,624,374	47.2	863.62
2024年3月期	3,461,135	1,688,603	1,688,173	48.8	880.40

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	20.00	-	30.00	50.00
2025年3月期	-	30.00	-	-	-
2025年3月期（予想）	-	-	-	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		コア営業利益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,830,000	14.3	260,000	33.2	280,000	32.3	300,000	26.5	240,000	19.4	240,000	19.6	127.60

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 一社（社名）、除外 一社（社名）第一三共エスファ株式会社

（注）詳細は、18ページ「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記（5）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更）」をご覧ください。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年3月期3Q	1,947,034,029株	2024年3月期	1,947,034,029株
------------	----------------	----------	----------------

② 期末自己株式数

2025年3月期3Q	66,138,672株	2024年3月期	29,531,339株
------------	-------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2025年3月期3Q	1,902,491,746株	2024年3月期3Q	1,917,410,710株
------------	----------------	------------	----------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、9ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
① 業績全般の概況	2
【連結業績（コアベース）】	2
【ユニット別売上収益状況】	4
② 研究開発の状況	6
(2) 当四半期の財政状態の概況	9
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	9
(4) 株主還元に関する説明	10
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	11
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	11
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	13
要約四半期連結損益計算書	13
要約四半期連結包括利益計算書	14
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	15
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	17
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	18
(継続企業の前提に関する注記)	18
(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)	18
(セグメント情報)	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

① 業績全般の概況

【連結業績（コアベース）】

(単位：百万円。百万円未満切捨て)

	2024年3月期 第3四半期累計	2025年3月期 第3四半期累計	対前年同期増減
売上収益	1,173,269	1,367,567	194,298 16.6%
売上原価 [※]	310,318	321,392	11,074 3.6%
販売費及び一般管理費 [※]	433,921	516,614	82,693 19.1%
研究開発費 [※]	256,799	300,550	43,751 17.0%
コア営業利益 [※]	172,229	229,009	56,779 33.0%
一過性の収益 [※]	26,876	21,454	△5,421 △20.2%
一過性の費用 [※]	4,555	2,152	△2,402 △52.7%
営業利益	194,551	248,311	53,760 27.6%
税引前四半期利益	199,846	275,000	75,153 37.6%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	163,564	208,603	45,038 27.5%
四半期包括利益合計額	208,045	239,178	31,133 15.0%

※ 当社グループは、経常的な収益性を示す指標として、営業利益から一過性の収益・費用を除外したコア営業利益を開示しています。一過性の収益・費用には、固定資産売却損益、事業再編に伴う損益（開発品や上市製品の売却損益を除く）、有形固定資産・無形資産・のれんに係る減損損失、損害賠償や和解等に伴う損益の他、非経常的かつ多額の損益が含まれます。

本表では、売上原価、販売費及び一般管理費、研究開発費について、一過性の収益・費用を除く実績を示しています。営業利益からコア営業利益への調整表は、決算補足資料に記載しています。

<主要通貨の日本円への換算レート（期中平均レート）>

	2024年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期
1米ドル/円	143.29	152.56
1ユーロ/円	155.28	164.82

a. 売上収益

- ・当第3四半期累計期間（2024年4月1日～12月31日）の売上収益は、前年同期比1,943億円（16.6%）増収の1兆3,676億円となりました。
- ・グローバル主力品エンハーツ（一般名：トラスツズマブ デルクステカン：T-DXd/DS-8201）、リクシアナ（一般名：エドキサバン）等の伸長及び円安の進行による為替の増収影響等により、増収となりました。
- ・売上収益に係る為替の増収影響は457億円でした。

b. コア営業利益

- ・コア営業利益は、前年同期比568億円（33.0%）増益の2,290億円となりました。
- ・売上原価は、売上収益が増加したものの、製品構成の変化に伴う原価率改善等により、111億円（3.6%）増加の3,214億円に留まりました。
- ・販売費及び一般管理費は、エンハーツに係るアストラゼネカとのプロフィット・シェアの増加による費用増等により、827億円（19.1%）増加の5,166億円となりました。
- ・研究開発費は、5DXd ADCs（トラスツズマブ デルクステカン、ダトポタマブ デルクステカン：Dato-DXd/DS-1062、パトリツマブ デルクステカン：HER3-DXd/U3-1402、イフィナタマブ デルクステカン：I-DXd/DS-7300、DS-6000）への研究開発投資の増加等により、前年同期比438億円（17.0%）増加の3,006億円となりました。
- ・コア営業利益に係る為替の減益影響は9億円でした。

c. 営業利益

- ・営業利益は、前年同期比538億円（27.6%）増益の2,483億円となりました。
- ・一過性の収益が減少したこと等から、コア営業利益に比べて増益額が減少しました。当期は第一三共エスファ株式会社の株式譲渡益等、前年同期はノバルティスから受領した当社米国子会社 プレキシコンに対する米国特許侵害訴訟の和解金等を一過性の収益として計上しました。

d. 税引前四半期利益

- ・税引前四半期利益は、前年同期比752億円（37.6%）増益の2,750億円となりました。
- ・為替差損益の改善等により、金融収支が改善したため、営業利益に比べて増益額が拡大しました。

e. 親会社の所有者に帰属する四半期利益

- ・親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比450億円（27.5%）増益の2,086億円となりました。
- ・第一三共エスファ株式会社の譲渡決定に伴う税効果会計の影響等により、前年同期の法人税等が減少していた一方、当期はその影響がなく、法人税等が増加したため、税引前四半期利益に比べて増益額が減少しました。

f. 四半期包括利益合計額

- ・四半期包括利益合計額は、前年同期比311億円（15.0%）増益の2,392億円となりました。

【ユニット別売上収益状況】

当第3四半期累計期間におけるユニット別売上収益は、次のとおりです。なお、製品別の売上収益については、決算補足資料に記載しています。

a. ジャパンビジネスユニット

ジャパンビジネスユニットの売上収益には、イノベーティブ医薬品事業及びワクチン事業の製品の売上収益が含まれております。

当ユニットの売上収益は、**リクシアナ**、**タリージェ**、**エンハーツ**等が伸長したものの、第一三共エスファ株式会社の連結除外に伴い、2024年4月以降、ジェネリック事業の製品の売上収益が含まれなくなったことから、前年同期比266億円（6.5%）減収の3,857億円となりました。

当第3四半期累計期間における主な進捗は次のとおりです。

- ・2024年6月、抗悪性腫瘍剤**エザルミア**の再発又は難治性の末梢性T細胞リンパ腫（PTCL）の承認取得及びプロモーションの開始
- ・2024年7月、不眠症治療剤**ベルソムラ**のMSD株式会社から当社への販売移管の決定
- ・2024年9月、COVID-19 mRNAワクチン **ダイチロナ筋注**（オミクロン株JN.1対応）の発売
- ・2024年10月、経鼻弱毒生インフルエンザワクチン **フルミスト点鼻液**の発売

b. 第一三共ヘルスケアユニット

第一三共ヘルスケアユニットの売上収益は、**マイティア**、**ロキソニン**等の伸長により、前年同期比75億円（12.4%）増収の674億円となりました。

c. オンコロジービジネスユニット

オンコロジービジネスユニットの売上収益には、第一三共Inc.（米国）及び第一三共ヨーロッパのがん製品売上収益が含まれております。

当ユニットの売上収益は、欧米における**エンハーツ**の伸長により、前年同期比1,042億円（44.7%）増収の3,372億円、現地通貨ベースでは、584百万米ドル（35.9%）増収の2,210百万米ドルとなりました。

当第3四半期累計期間における主な進捗は次のとおりです。

- ・2024年4月、**エンハーツ**のHER2陽性の複数の固形がんを対象とした米国における承認取得及びプロモーションの開始

d. アメリカンリージェントユニット

アメリカンリージェントユニットの売上収益は、ジェネリック注射剤、**ヴェノファー**等の増収により、前年同期比179億円（11.8%）増収の1,699億円、現地通貨ベースでは、53百万米ドル（5.0%）増収の1,114百万米ドルとなりました。

e. EUスペシャルティビジネスユニット

EUスペシャルティビジネスユニットの売上収益には、がん製品を除く第一三共ヨーロッパの製品売上収益が含まれております。

当ユニットの売上収益は、**リクシアナ**、**Nilemdo/Nustendi**の伸長により、前年同期比407億円（29.6%）増収の1,783億円、現地通貨ベースでは196百万ユーロ（22.1%）増収の1,082百万ユーロとなりました。

当第3四半期累計期間における主な進捗は次のとおりです。

- ・2024年5月、Nilemdo/Nustendiの心血管疾患の抑制の承認取得及びプロモーションの開始

f. ASCAビジネスユニット

ASCA^{※1}ビジネスユニットの売上収益には、海外ライセンシーへの売上収益等が含まれております。

当ユニットの売上収益は、ブラジルにおけるエンハーツの伸長等により、前年同期比232億円（17.6%）増収の1,550億円となりました。

※1 Asia, South & Central Americaの略

当第3四半期累計期間における主な進捗は次のとおりです。

- ・2024年8月、エンハーツのHER2陽性胃がんを対象とした中国における承認取得及びプロモーションの開始
- ・2024年10月、エンハーツのHER2遺伝子変異を有する非小細胞肺がんを対象とした中国における承認取得及びプロモーションの開始

② 研究開発の状況

当社グループは、5つのDXd ADC^{※1}の製品価値最大化を目指してリソースを集中投入するとともに、持続的成長の実現に向けてSOC^{※2}を変革する製品群（Next Wave）の創薬を目指す「5DXd ADCs and Next Wave」戦略のもと、グローバル臨床開発の加速化にも注力して研究開発に取り組んでおります。

中長期的には、がんに加え、当社のサイエンス&テクノロジーの優位性を活かして様々な疾患に対する治療薬創製を目指し、新規モダリティ^{※3}の技術研究等を通じた創薬力の強化に取り組んでおります。

※1 ADCはAntibody Drug Conjugateの略、抗体薬物複合体。抗体医薬と薬物（低分子医薬）を適切なリンカーを介して結合させた医薬品で、がん細胞に発現している標的因子に結合する抗体医薬を介して薬物をがん細胞へ直接届けることで、薬物の全身曝露を抑えつつ、がん細胞への攻撃力を高めた薬剤。DXd ADCは当社独自の薬物とリンカーを抗体に結合させたもの

※2 Standard of Careの略。現在の医学では最善とされ、広く用いられている治療法

※3 モダリティとは低分子薬、抗体医薬、ADC、核酸医薬、遺伝子治療等の治療手段のこと

【5DXd ADCs】

当第3四半期累計期間における5DXd ADCsの臨床開発の状況は次のとおりです。なお、各臨床試験の状況については、決算補足資料に掲載しています。

トラスツズマブ デルクステカン及びダトポタマブ デルクステカンは、アストラゼネカと共同開発しております。また、パトリツマブ デルクステカン、イフィナタマブ デルクステカン、DS-6000については、Merck & Co., Inc., Rahway, NJ, USA（以下「米国メルク」）と共同開発しております。

a. トラスツズマブ デルクステカン（T-DXd/DS-8201：抗HER2 ADC、製品名：エンハーツ）

当第3四半期累計期間における主な進捗は次のとおりです。

- ・2024年4月、HER2陽性（IHC3+）固形がん2次治療以降を対象とした米国における承認の取得
- ・2024年4月、ホルモン受容体陽性かつHER2低発現の化学療法未治療の乳がんを対象としたフェーズ3試験（試験名：DESTINY-Breast06）の結果概要の発表
- ・2024年6月、米国臨床腫瘍学会（ASCO）におけるDESTINY-Breast06試験の主要解析データの発表
- ・2024年6月、ASCOにおけるHER2陽性乳がんを対象とした単剤療法及び併用療法を評価するフェーズ1b/2試験（試験名：DESTINY-Breast07）のうち、1次治療における単剤療法及びペルツズマブとの併用コホートの最新データの発表
- ・2024年8月、HER2陽性の胃または胃食道接合部腺がんの3次治療以降を対象とした中国における承認の取得
- ・2024年8月、化学療法未治療のホルモン受容体陽性かつHER2低発現またはHER2超低発現の乳がんを対象とした欧州における承認申請の受理及び米国食品医薬品局（FDA）からの画期的治療薬指定^{※4}の獲得
- ・2024年9月、世界肺がん学会（WCLC）におけるHER2陽性の非扁平上皮非小細胞肺がんを対象としたフェーズ1b試験（試験名：DESTINY-Lung03）のうち、2次治療以降を対象とした単剤療法コホートの初のデータ発表
- ・2024年9月、ESMOにおける脳転移を伴うまたは伴わないHER2陽性乳がんを対象としたフェーズ3b/4試験（試験名：DESTINY-Breast12）のデータ発表
- ・2024年10月、化学療法未治療のHER2低発現またはHER2超低発現の乳がんを対象とした米国における承認申請の受理及び優先審査^{※5}の指定獲得並びに日本における承認申請の受理
- ・2024年10月、全身治療歴のあるHER2遺伝子変異を有する非小細胞肺がんを対象とした

中国における承認の取得

- ※4 重篤な疾患を対象に、既存の治療薬よりも高い治療効果を示す可能性のある薬剤の開発と審査を促進し、患者により早く新薬を届けるために定められた制度
- ※5 米国において、治療上重要な進歩をもたらす薬剤や、現在適切な治療法がない疾患への治療法を提供する薬剤に対して指定され、通常審査期間（10ヶ月目標）に比べ審査期間の短縮（6ヶ月目標）が見込まれる

b. ダトポタマブ デルクステカン（Dato-DXd/DS-1062:抗TROP2 ADC、製品名:ダトロウェイ）

当第3四半期累計期間における主な進捗は次のとおりです。

- ・2024年4月、ホルモン受容体陽性かつHER2低発現又は陰性の乳がんの2次治療以降を対象とした米国における承認申請の受理
- ・2024年5月、非小細胞肺がんの2次治療以降を対象としたフェーズ3試験（試験名：TROPION-Lung01）における全生存期間（OS）に関する主要解析結果概要の発表
- ・2024年5月、非扁平上皮非小細胞肺がんの1次治療を対象としたRilvegostomig（AZD2936）との併用療法のフェーズ3試験（試験名：TROPION-Lung10）の開始
- ・2024年5月、EGFR変異を有する非小細胞肺がんの1次治療を対象としたオシメルチニブとの併用療法のフェーズ3試験（試験名：TROPION-Lung14）の開始
- ・2024年6月、ASCOにおける非小細胞肺がんを対象とした免疫チェックポイント阻害剤との併用療法のフェーズ1b試験（試験名：TROPION-Lung02）のうち、1次治療を対象としたサブグループ解析の最新データの発表
- ・2024年9月、WCLCにおける非小細胞肺がんの2次治療以降を対象としたフェーズ3試験（試験名：TROPION-Lung01）のOSの最終解析結果、及び同試験におけるTROP2-QCS^{※6}バイオマーカーに基づく無増悪生存期間（PFS）解析データの発表
- ・2024年9月、WCLCにおける非小細胞肺がんの術前・術後薬物療法を対象としたフェーズ2試験（試験名：NeoCOAST-2）のデータ発表
- ・2024年9月、欧州臨床腫瘍学会（ESMO）における複数の固形がんを対象としたフェーズ2試験（試験名：TROPION-PanTumor03）のうち、子宮内膜がん及び卵巣がんに関する初のデータ発表
- ・2024年9月、ホルモン受容体陽性かつHER2低発現または陰性の乳がんの2次治療以降を対象としたフェーズ3試験（試験名：TROPION-Breast01）におけるOSの最終解析結果概要の発表
- ・2024年10月、オシメルチニブによる前治療歴のあるEGFR変異を有する非扁平上皮非小細胞肺がんを対象として単剤療法及びオシメルチニブとの併用療法を評価するフェーズ3試験（試験名：TROPION-Lung15）の開始
- ・2024年11月、米国におけるEGFR変異を有する、前治療歴（EGFR標的療法を含む）のある非小細胞肺がんを対象とした承認申請、及び非扁平上皮非小細胞肺がんに係る2次/3次治療を対象とした承認申請の自主的な取り下げ
- ・2024年12月、欧州臨床腫瘍学会アジア大会（ESMO Asia）におけるEGFR変異を有する非小細胞肺がんを対象とした臨床試験プール解析結果の発表
- ・2024年12月、EGFRチロシンキナーゼ阻害剤とプラチナ製剤ベースの化学療法との併用療法による治療中または治療後に病勢進行したEGFR変異を有する非小細胞肺がんを対象としたFDAからの画期的治療薬指定の獲得
- ・2024年12月、欧州医薬品庁（EMA）に提出していた非扁平上皮非小細胞肺がんに係る2次/3次治療を対象とした承認申請の自主的な取り下げ
- ・2024年12月、化学療法歴のあるホルモン受容体陽性かつHER2陰性の乳がんを対象とした日本における承認の取得

- ※6 患者の組織サンプルのデジタル画像を解析し、画像内の全てのがん細胞の表面及び内部に発現するTROP2のような標的タンパク質を正確に定量化するアストラゼネカが開発した新しい計算病理学的プラットフォーム

c. パトリツマブ デルクステカン (HER3-DXd/U3-1402 : 抗HER3 ADC)

当第3四半期累計期間における主な進捗は次のとおりです。

- ・2024年6月、EGFR変異を有する非小細胞肺がんの3次治療を対象としたフェーズ2試験（試験名：HERTHENA-Lung01）に基づく米国における承認申請について、米国食品医薬品局（FDA）からの審査完了報告通知の受領
- ・2024年9月、EGFR変異を有する非小細胞肺がんの2次治療を対象としたフェーズ3試験（試験名：HERTHENA-Lung02）における主要評価項目の達成

d. イフィナタマブ デルクステカン (I-DXd/DS-7300 : 抗B7-H3 ADC)

当第3四半期累計期間における主な進捗は次のとおりです。

- ・2024年5月、固形がんの2次治療以降を対象としたフェーズ2試験（試験名：IDeate-PanTumor02）の開始
- ・2024年8月、進展型小細胞肺がんの2次治療を対象としたフェーズ3試験（試験名：IDeate-Lung02）の開始
- ・2024年9月、WCLCにおける進展型小細胞肺がんの2次治療以降を対象としたフェーズ2試験（試験名：IDeate-Lung01）の中間解析データの発表

e. DS-6000 (抗CDH6 ADC)

当第3四半期累計期間における主な進捗は次のとおりです。

- ・2024年4月、プラチナ抵抗性卵巣がんを対象としたフェーズ2/3試験（試験名：REJOICE-Ovarian01）の開始

【Next Wave】

当第3四半期累計期間におけるNext Waveの主な進捗は次のとおりです。なお、各臨床試験の状況については、決算補足資料に掲載しています。

- ・2024年4月、DS-5670 (COVID-19 mRNAワクチン、日本製品名：ダイチロナ) の5歳から11歳を対象とした日本における承認申請の受理
- ・2024年6月、DS-5670の12歳以上を対象とした2024年度の厚生労働省選定株対応ワクチンとして日本における一部変更承認申請の受理
- ・2024年6月、開発中の2つのmRNAワクチン（パンデミック時のインフルエンザmRNAワクチン、季節性インフルエンザと新型コロナウイルスの混合mRNAワクチン）について、厚生労働省の「ワクチン大規模臨床試験等事業」への採択
- ・2024年6月、バレメトスタット (DS-3201 : EZH1/2阻害剤、日本製品名：エザルミア) の再発又は難治性の末梢性T細胞リンパ腫 (PTCL) を対象とした日本における承認の取得
- ・2024年6月、ミロガバリン (DS-5565 : $\alpha 2 \delta$ リガンド、日本製品名：タリージェ) の糖尿病性末梢神経障害性疼痛を対象とした中国における承認の取得
- ・2024年8月、米国メルクが開発中のMK-6070 (DS3280 : DLL3を標的とした三重特異性のT細胞エンゲージャー) を同社とのDXd ADC 3製品の戦略的提携契約に追加し、同社との共同開発を開始
- ・2024年9月、ESMOにおけるDS-9606 (二つ目の当社独自のADC技術プラットフォームから創製されたピロロベンゾジアゼピン (PBD) をペイロードとする抗CLDN6 ADC) の進行性固形がんを対象としたフェーズ1試験の用量漸増パートにおける初のデータ発表
- ・2024年12月、キザルチニブ (AC220 : FLT3阻害剤、製品名：ヴァンプリタ) のFLT3-ITD変異陰性の急性骨髄性白血病における1次治療を対象としたフェーズ3試験（試験名：QuANTUM-Wild) の開始

(2) 当四半期の財政状態の概況

- ・当第3四半期末における資産合計は3兆4,436億円となりました。営業債権及びその他の債権、無形資産、並びに有形固定資産が増加した一方で、その他の金融資産（流動）の減少等により、前期末より175億円の減少となりました。
- ・負債合計は1兆8,192億円となりました。その他の非流動負債、未払法人所得税、並びに引当金が減少した一方で、契約負債、営業債務及びその他の債務の増加等により、前期末より467億円の増加となりました。
- ・資本合計は1兆6,244億円となりました。四半期利益の計上等による増加があった一方で、配当金の支払及び自己株式の取得（3,676万株、1,917億円）による減少等により、前期末より642億円の減少となりました。
- ・親会社所有者帰属持分比率は47.2%となり、前期末より1.6%減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

- ・2024年10月31日に公表した2025年3月期連結業績予想との差異は次のとおりです。

2025年3月期通期連結業績予想数値の修正（2024年4月1日～2025年3月31日）

	売上収益	コア 営業利益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の 所有者に 帰属する 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想 (A)	1,830,000	260,000	280,000	285,000	225,000	225,000
今回発表予想 (B)	1,830,000	260,000	280,000	300,000	240,000	240,000
増減額 (B-A)	—	—	—	15,000	15,000	15,000
増減率 (%)	—	—	—	5.3	6.7	6.7
(ご参考) 2024年3月期	1,601,688	195,263	211,588	237,234	201,016	200,731

*第4四半期の想定為替レート 1米ドル=145円 1ユーロ=155円

(注) 上記の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

修正の理由

税引前利益、当期利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益については、当第3四半期累計期間までの為替差損益の改善に伴う金融収益の増加等を反映し、前回予想を150億円上回る3,000億円及び2,400億円に修正しました。

(4) 株主還元に関する説明

- 当社は、持続的な企業価値の向上を図るため、成長戦略の展開に不可欠な投資の実行と株主の皆様への利益還元を総合的に勘案し、利益配分を決定することを経営の基本方針としております。
- 2023年度につきましては、期末配当として、1株当たり30円の配当金を2024年6月18日にお支払いしました。年間配当金は、2023年12月8日にお支払いした中間配当20円と合計で1株当たり50円でした。
- 2024年度については、エンハーツの更なる売上拡大等により、2025年度主要計数目標の達成確度が高まっていることから、1株当たり年間配当は2023年度に比べ10円増配の60円を予定しています。なお、2024年10月31日開催の取締役会において、中間配当として1株当たり30円の普通配当を実施することを決議し、2024年12月10日、中間期末時点の株主の皆様に対し、中間配当をお支払いしました。
- 株主還元の充実とともに資本効率の向上を図るため、2024年4月26日から2025年1月15日にかけて、取得総額2,000億円または取得株数5,500万株を上限として自己株式を取得し、当該取得自己株式の全株式数を消却することを2024年4月25日開催の取締役会において決定しました。本取締役会での決定に基づき、2025年1月9日までに、3,871万株の自己株式を2,000億円で取得し、同年1月31日に消却しました。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	647,180	682,148
営業債権及びその他の債権	454,188	624,174
その他の金融資産	577,040	108,551
棚卸資産	438,111	475,355
その他の流動資産	32,999	73,170
小計	2,149,521	1,963,399
売却目的で保有する資産	24,503	12,250
流動資産合計	2,174,024	1,975,649
非流動資産		
有形固定資産	421,692	487,470
のれん	108,498	114,801
無形資産	168,300	241,716
持分法で会計処理されている投資	608	735
その他の金融資産	147,906	144,114
繰延税金資産	249,354	238,316
その他の非流動資産	190,749	240,808
非流動資産合計	1,287,111	1,467,962
資産合計	3,461,135	3,443,612

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	557,131	564,474
社債及び借入金	399	401
その他の金融負債	12,775	14,270
未払法人所得税	46,391	34,012
引当金	15,435	4,229
契約負債	57,435	66,298
その他の流動負債	22,345	28,667
小計	711,914	712,355
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	11,484	—
流動負債合計	723,399	712,355
非流動負債		
社債及び借入金	101,314	101,028
その他の金融負債	46,229	48,282
退職給付に係る負債	1,291	1,627
引当金	13,978	13,531
契約負債	680,166	754,085
繰延税金負債	12,858	12,317
その他の非流動負債	193,294	176,010
非流動負債合計	1,049,133	1,106,882
負債合計	1,772,532	1,819,238
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	1,962	5,007
自己株式	△36,629	△227,950
その他の資本の構成要素	283,998	306,489
利益剰余金	1,388,842	1,490,827
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,688,173	1,624,374
非支配持分	429	—
資本合計	1,688,603	1,624,374
負債及び資本合計	3,461,135	3,443,612

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上収益	1,173,269	1,367,567
売上原価	310,759	321,459
売上総利益	862,509	1,046,107
販売費及び一般管理費	437,942	522,990
研究開発費	257,062	302,646
その他の収益	27,063	27,983
その他の費用	16	141
営業利益	194,551	248,311
金融収益	21,532	31,231
金融費用	16,338	4,776
持分法による投資損益	101	233
税引前四半期利益	199,846	275,000
法人所得税費用	35,744	66,396
四半期利益	164,102	208,603
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	163,564	208,603
非支配持分	537	—
四半期利益	164,102	208,603
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	85.31	109.65
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	85.25	109.58

要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期利益	164,102	208,603
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	9,923	2,069
確定給付制度に係る再測定額	35	△0
その後純損益に振り替えられる 可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	32,625	27,619
キャッシュ・フロー・ヘッジ	1,358	886
税引後その他の包括利益	43,942	30,574
四半期包括利益	208,045	239,178
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	207,507	239,178
非支配持分	537	—
四半期包括利益	208,045	239,178

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2023年4月1日 残高	50,000	—	△36,808	608	168,415	403	31,446
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	32,625	1,358	9,923
四半期包括利益	—	—	—	—	32,625	1,358	9,923
自己株式の取得	—	—	△17	—	—	—	—
自己株式の処分	—	194	139	△22	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	1,112	—	—	—	—	—
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	—	△1,189
非金融資産等への振替	—	—	—	—	—	△1,746	—
その他の増減	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	1,307	121	△22	—	△1,746	△1,189
2023年12月31日 残高	50,000	1,307	△36,686	586	201,041	15	40,179

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
	確定給付制度に係る再測定	その他の資本の構成要素合計	利益剰余金			
2023年4月1日 残高	—	200,874	1,231,788	1,445,854	—	1,445,854
四半期利益	—	—	163,564	163,564	537	164,102
その他の包括利益	35	43,942	—	43,942	—	43,942
四半期包括利益	35	43,942	163,564	207,507	537	208,045
自己株式の取得	—	—	—	△17	—	△17
自己株式の処分	—	△22	—	311	—	311
配当金	—	—	△67,109	△67,109	—	△67,109
株式報酬取引	—	—	—	1,112	—	1,112
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	—	235	235
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	△35	△1,224	1,224	—	—	—
非金融資産等への振替	—	△1,746	—	△1,746	—	△1,746
その他の増減	—	—	425	425	—	425
所有者との取引額等合計	△35	△2,993	△65,458	△67,023	235	△66,788
2023年12月31日 残高	—	241,823	1,329,894	1,586,338	772	1,587,111

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2024年4月1日 残高	50,000	1,962	△36,629	560	243,928	△232	39,742
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	27,619	886	2,069
四半期包括利益	—	—	—	—	27,619	886	2,069
自己株式の取得	—	△80	△191,703	—	—	—	—
自己株式の処分	—	△17	383	△44	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	3,143	—	—	—	—	—
子会社の支配喪失に伴う変動	—	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	—	△7,385
非金融資産等への振替	—	—	—	—	—	△654	—
その他の増減	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	3,044	△191,320	△44	—	△654	△7,385
2024年12月31日 残高	50,000	5,007	△227,950	515	271,547	—	34,426

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
	確定給付制度に係る再測定	その他の資本の構成要素合計	利益剰余金			
2024年4月1日 残高	—	283,998	1,388,842	1,688,173	429	1,688,603
四半期利益	—	—	208,603	208,603	—	208,603
その他の包括利益	△0	30,574	—	30,574	—	30,574
四半期包括利益	△0	30,574	208,603	239,178	—	239,178
自己株式の取得	—	—	—	△191,784	—	△191,784
自己株式の処分	—	△44	—	320	—	320
配当金	—	—	△114,408	△114,408	—	△114,408
株式報酬取引	—	—	—	3,143	—	3,143
子会社の支配喪失に伴う変動	—	—	—	—	△429	△429
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	0	△7,384	7,384	—	—	—
非金融資産等への振替	—	△654	—	△654	—	△654
その他の増減	—	—	405	405	—	405
所有者との取引額等合計	0	△8,083	△106,618	△302,977	△429	△303,407
2024年12月31日 残高	—	306,489	1,490,827	1,624,374	—	1,624,374

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	199,846	275,000
減価償却費及び償却費	43,526	50,668
減損損失(又は戻入れ)	361	2,014
金融収益	△21,532	△31,231
金融費用	16,338	4,776
持分法による投資損益(△は益)	△101	△233
固定資産除売却損益(△は益)	832	△2,035
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△89,758	△156,813
棚卸資産の増減額(△は増加)	△86,514	△34,298
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	50,435	△17,108
契約負債の増減額(△は減少)	431,904	82,766
その他	79,182	△116,747
小計	624,521	56,757
利息及び配当金の受取額	12,891	18,036
利息の支払額	△1,018	△913
法人所得税の支払額	△67,102	△92,156
営業活動によるキャッシュ・フロー	569,291	△18,275
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△372,330	△38,046
定期預金の払戻による収入	270,101	349,475
投資の取得による支出	△240,782	△139,013
投資の売却及び償還による収入	199,050	316,035
有形固定資産の取得による支出	△68,332	△79,854
有形固定資産の売却による収入	55	490
無形資産の取得による支出	△7,083	△46,949
子会社の取得による支出	△6,900	—
子会社の売却による収入	7,500	5,250
貸付金の回収による収入	148	17
その他	△657	△304
投資活動によるキャッシュ・フロー	△219,231	367,101
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の償還及び借入金の返済による支出	△41,297	△299
自己株式の取得による支出	△17	△191,784
自己株式の売却による収入	0	—
配当金の支払額	△67,141	△114,402
リース負債の返済による支出	△11,268	△12,771
その他	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△119,725	△319,258
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	230,334	29,567
現金及び現金同等物の期首残高	441,921	647,180
現金及び現金同等物に係る換算差額	806	5,399
現金及び現金同等物の期末残高	673,062	682,148
売却目的で保有する資産への振替額	△6,325	—
現金及び現金同等物の期末残高 (要約四半期連結財政状態計算書計上額)	666,736	682,148

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間において、第一三共エスファ株式会社の発行済株式総数の51%に相当する数の株式の譲渡を完了したため、連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報)

当社グループは、「医薬事業」の単一セグメントであるため、報告セグメント別の記載は省略しております。